

企業の採用担当者と個別に話をする求職者（国際ホテル宇部で）



県説明会 地元就職を応援 32人が企業と真剣に

県主催のやまぐち地域就職説明会は7日、国際ホテル宇部で開かれた。求職者32人（学生8人、既卒24人）が訪れ、採用を考える地元企業の担当者と面談し、就業に向けて可能性を模索した。

正規雇用を目指す求職後、希望する企業のテ―者を支援するため、県若ブルを訪ね、担当者から者就職支援センターが県業務内容、給与、勤務形態などの労働条件の説明している。2015年度は年2回だったが、今年は今回1回とし、県内6会場で開いている。宇部会場には、建設、製造、サービス業など市内外の48社が参加した。

求職者は、参加企業の求人情報に目を通した

今年10月時点の県内の有効求人倍率は1・43倍で、全国平均の1・40倍を上回っている。

県若者就職支援センターの重永敬二センター長は「説明会の実施が年1回になったことは、県内

の求人状況は改善傾向であることの表れ。また参加学生が少ないのは、10月に発表された県内学生の就職内定率が過去最高だったことの裏付けだろう」と分析。「だからこそ、説明会に参加した求職者と雇用を求める企業がうまくマッチングしてくれたら」と話した。

（久保）